
平成22年度
市民企画事業補助金
審査結果のまとめ

平成22年4月
八王子市

目 次

1	審査結果総括表	1
2	採択事業一覧表（新規事業）	2
3	採択事業一覧表（継続事業）	3
4	審査	
(1)	審査について	5
(2)	審査フロー	6
(3)	審査方法	7
(4)	審査結果意見書	8
5	参考資料	
(1)	市民企画事業補助金審査委員会 委員名簿・開催状況	23
(2)	八王子市市民企画事業補助金交付要綱	24
(3)	平成 21 年度補助対象事業募集要項	28
(4)	市民企画事業補助金審査委員会設置要綱	32
(5)	担当課一覧	33

平成22年度市民企画事業補助金 審査結果総括表

部 門		件 数		金額(円)	予算額(円)	予算額 - 補助予定金額(円)	備 考
A 活動支援部門	新規	応募	13	1,300,000			
		採択したもの	7	700,000			
		不採択としたもの	6	—			
	継続	応募	6	568,000			
		採択したもの	4	368,000			
		不採択としたもの	2	—			
	小計	応募	19	1,868,000	1,000,000	868,000	
		採択したもの	11	1,068,000	1,000,000	68,000	
		不採択としたもの	8	—			
B 事業実施部門	新規	応募	25	13,154,000			
		審査期間中に 取下げのあったもの	2	1,434,000			1月10日 B新18「市民参加型 シアタープロ ジェクト」取下げ
		採択したもの	17	7,171,000			1月22日 B新22「みんなの力」成年後見セン ター事業」取下げ
		不採択としたもの	6	—			
	継続	応募	8	2,027,000			
		採択したもの	7	1,567,000			
		不採択としたもの	1	—			
	小計	応募	33	15,181,000	9,000,000	6,181,000	
		審査期間中に 取下げのあったもの	2	1,434,000			
		採択したもの	24	8,738,000	9,000,000	262,000	
不採択としたもの		7	—				
合 計	応募	52	17,049,000	10,000,000	7,049,000		
	審査期間中に 取下げのあったもの	2	1,434,000				
	採択したもの	35	9,806,000	10,000,000	194,000		
	不採択としたもの	15	—				

採択事業一覧表（新規事業）

A 活動支援部門			
受付番号	事業名	団体名	22年度補助金 交付予定額(円)
A-新-2	幼少児童との「防火ふれあい会」	防火支援ボランティアFOB八王子	100,000
A-新-3	親子で楽しむ陶芸教室	特定非営利活動法人 発達支援の会 未来	100,000
A-新-4	わら細工文化の啓発と技術の伝承	わら細工の会 円座	100,000
A-新-7	自然体験活動に関する事業	滝山ネイチャークラブ	100,000
A-新-8	会の広報用パンフレットの作成	めじる台安心ねっと	100,000
A-新-12	チャーム活動普及事業	ハートフルメイクボランティア・チャーム	100,000
A-新-13	楽しい介護予防の音楽セミナー	八王子音楽療法研究会	100,000
B 事業実施部門			
受付番号	事業名	団体名	22年度補助金 交付予定額(円)
B-新-1	八王子陵南公園さくら祭り	特定非営利活動法人 八王子さくらの 会	841,000
B-新-2	いきいきときめき 計算大会	ICA国際電卓協会	100,000
B-新-3	生涯学習の集いインかわぐち	八王子生涯学習コーディネーター会	71,000
B-新-4	音楽療法による教育・子育て・地域支援事業	特定非営利活動法人 音楽療法NPO ムジカトゥッティ	615,000
B-新-6	講演と視覚障害者音楽家による演奏会 21世紀の青少年へのメッ セージ“未来への夢と努力と”	東京八王子プロバスクラブ	500,000
B-新-7	地域学からみた八王子像	八王子学会	200,000
B-新-8	『絆(～きずな～)の創造』コンサート	八王子シティオーケストラ	755,000
B-新-9	障害者ケアサポートプラン[知的障害者]	特定非営利活動法人 日本ウェルネッ ト	890,000
B-新-10	八王子おやじ旅券(小冊子)の発行	創快おやじ倶楽部	100,000
B-新-11	八王子現代家具工芸学校	家具のまち八王子	750,000
B-新-12	「知っていますか、長安を・・・」	とんとんむかしの会	207,000
B-新-16	みなみおおさまイラストマップ	南大沢を知ってほしい会	400,000

採択事業一覧表 (新規事業)

B-新-20	小中学生向け専門家養成講座およびコンテスト	八王子学研究会	447,000
B-新-21	大人の女性のゼミ～ママが学んでおきたいこと～	f-SHIP	210,000
B-新-23	HACHIOUJIKKO元気プロジェクト	八王子・子どもの居場所づくりプロジェクト	400,000
B-新-24	はじめてみよう「身近な科学体験」	八王子青年団体連絡協議会	429,000
B-新-25	里親制度を正しく知ってもらうための活動	里親ひろば ほいっぴ八王子	256,000

採択事業一覧表 (継続事業)

A 活動支援部門			
受付番号	事業名	団体名	22年度補助金 交付予定額(円)
A- -1	「家族で楽しむ物作り」体験教室	特定非営利活動法人 建物相談室五色会	100,000
A- -2	要約筆記啓発講座	八王子要約筆記サークルそらの会	100,000
A- -3	ポレボジさぼーと	ポレボジさぼーと	95,000
A- -5	メディエーション(和解支援)紹介普及活動	草の根メディエーション(和解支援)の会	73,000
B 事業実施部門			
受付番号	事業名	団体名	22年度補助金 交付予定額(円)
B- -1	デイズー図書の作製	南大沢音訊の会「こだま」	59,000
B- -3	認知症:集いの場&支援ネットワーク拠点をつくる	特定非営利活動法人 らいふねっとMOE	400,000
B- -4	絵と語り付きクラシックコンサート	絵と語り付きクラシックコンサート実行委員会	147,000
B- -5	地球冒険学校交流セミナー	特定非営利活動法人 地球冒険学校準備会	337,000
B- -1	夢あるまちづくり	夢あるまちづくり協議会	140,000
B- -2	親子ふれあいキャンプ2010	はちおうじユースネットサービス	364,000
B- -3	市民参加型 援農活動による農業活性化ー	特定非営利活動法人 すずしろ22	120,000

审 查



1. 審査について

6人の外部委員で構成される市民企画事業補助金審査委員会で応募書類及び公開プレゼンテーション（事業実施部門のみ対象）により事業内容の審査を行った。

また、審査委員会での審査に先立ち、事務局（協働推進課）による形式審査（事業及び団体の要件等の審査）を行った後、応募事業の内容に関連する担当部により応募書類及び面接による評価を行った。

さらに、公開プレゼンテーションにおいては、傍聴された市民の皆さまからご提出いただいた「市民コメントシート」の内容も担当部審査の結果と併せて審査委員会に送付し、市民の視点も踏まえた厳格な審査を行った。

【公開プレゼンテーション(2月6日)】

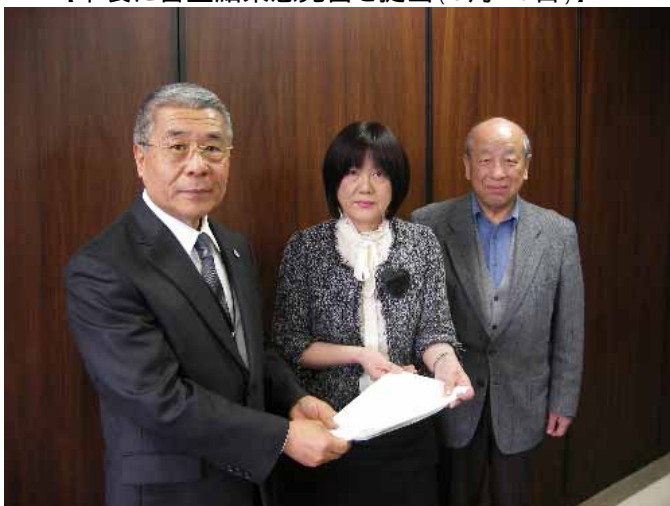


B事業実施部門へ応募した31団体(取下げ団体を除く)がプレゼンテーションを行った。



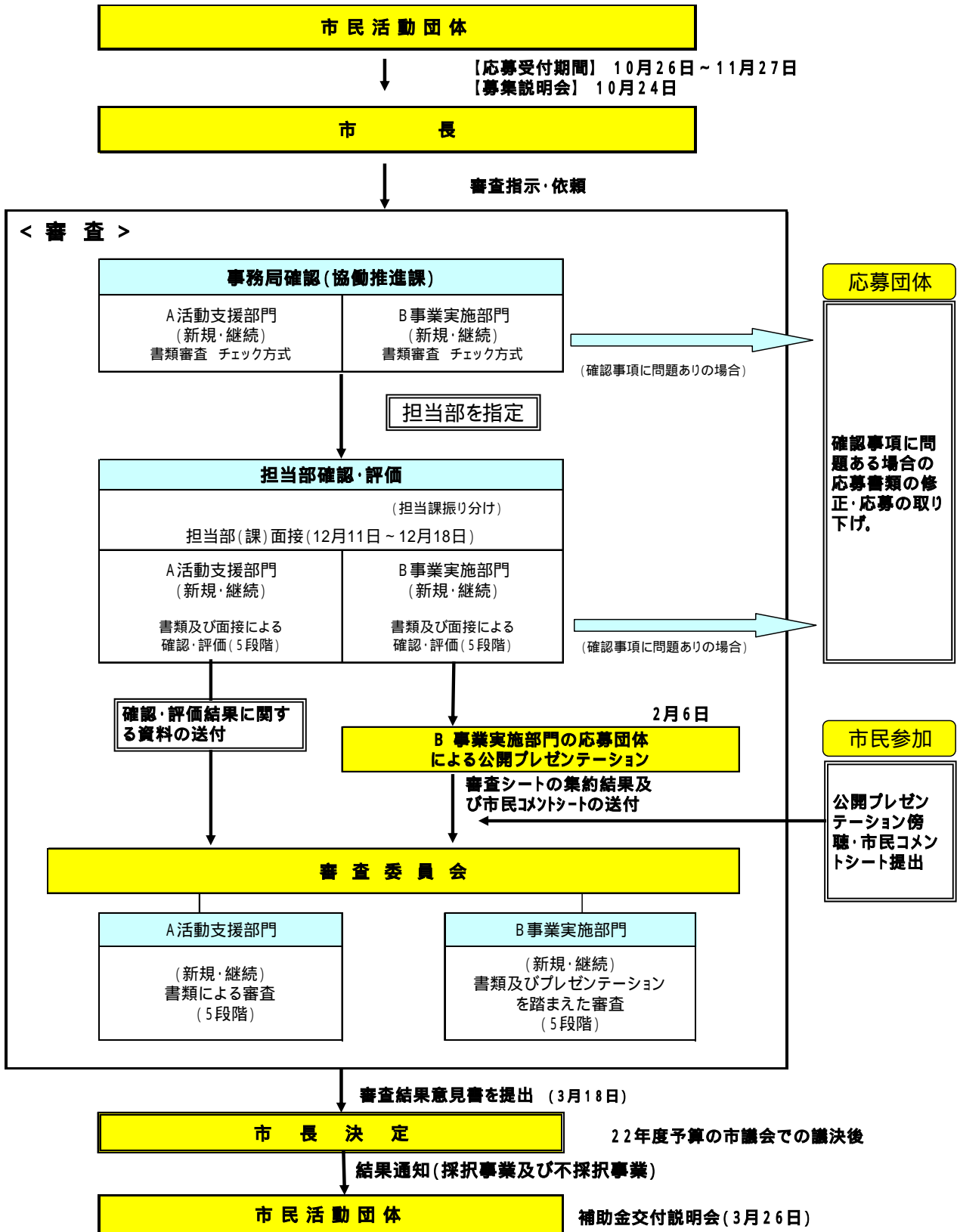
傍聴者は、熱心に各団体のプレゼンテーションに聞き入っていた。傍聴者は「市民コメントシート」により、審査に参加することが出来る。

【市長に審査結果意見書を提出(3月18日)】



右から前野副委員長、
和田委員長、黒須市長

2. 審査フロー



3. 審査方法

(1) 担当部による評価項目

A 活動支援部門		B 事業実施部門	
確認			
応募事業が募集要項の4に掲げる要件を満たしているか。			
評価（5段階）			
公益性	活動目的や内容が明確で公益性が認められるか。	政策合致性	実施効果が「ゆめおりプラン」の目指す方向と一致しているか。
期待度	将来、独自性や専門性を活かしたサービスの提供ができるか。	計画性	事業内容、収支内容、実施体制などが適切か。具体的な効果が望めるか。
		八王子らしさ	「オンリーワンのまちづくり」に寄与するものか。八王子の歴史、伝統、文化、自然などを活かすものか。

(2) 審査委員会による審査項目

次の項目について、**5段階での採点**を行います。ただし、各部門における項目「補助金交付の必要性」については、採点ではなく「あり」、「なし」の判断となります。

A 活動支援部門		B 事業実施部門	
公益性	活動目的や内容が明確で公益性が認められるか。	計画性	事業内容、収支内容、実施体制などが適切か、具体的な効果が望めるか。また継続事業の場合、継続の必要性があるか。
期待度	将来、独自性や専門性を活かしたサービスの提供が期待できるか。	社会貢献度	地域社会の健全な発展に寄与するものであるか。
補助金交付の必要性	あり・なし	ニーズの高さ	市民のニーズが高いか。
		創意工夫	独自の発想やノウハウ、専門性を持っているか。また、可能性を秘めているか。
		補助金交付の必要性	あり・なし

平成22年3月18日

八王子市長 黒 須 隆 一 殿

平成22年度市民企画事業補助金の応募事業について審査を行ったので、次のとおり報告します。

市民企画事業補助金審査委員会

委員長 和田 清 美

副委員長 前 野 修

委員 大 野 貴 弘

同 甘 利 昌 史

同 中 野 昇

同 江 頭 晃 子

平成22年度市民企画事業補助金

審査結果意見書

平成22年3月18日

市民企画事業補助金審査委員会

講 評

平成 22 年度市民企画事業補助金の審査を終えて

市民企画事業補助金審査委員会 委員長
首都大学東京 都市教養学部 教授 和田 清 美

平成 22 年度市民企画事業補助金の審査を無事終えましたので、ここに審査結果のご報告ならびに講評について審査委員会を代表いたしまして述べさせていただきます。

平成 22 年度市民企画事業補助金には合計 52 事業の応募がありました。内訳は「活動支援部門」が 19 事業（うち新規 13 事業、継続 6 事業）、「事業実施部門」が 33 事業（新規 25 事業、継続〔2 回〕5 事業、継続〔3 回〕3 事業）となっています。昨年度と比べて応募総数が 16 件と増え、それに伴い応募総額が予算要求額を大幅に超える結果となりましたので、審査委員会としては本補助金の趣旨・目的に基づいて厳正に審査を行いました。

公開プレゼンテーション（公開審査）は、2 月 6 日（土）の終日をかけて、北野市民センターで行われました。「事業実施部門」に応募した 31 団体（取り下げ 2 団体除く）が、限られた時間内で、応募事業について要領よく説明されました。また、短い時間ではありますが、審査委員との質疑応答にも積極的に受け答えしていました。その結果、応募書類のみでは読み取れないことが多々明らかになり、応募事業への理解が深まり、あらためて審査過程における公開プレゼンテーションの意義を審査委員一同確認いたしました。

この公開プレゼンテーションの審査を経て、2 月 23 日（火）午後、「最終選考審査会」が開催されました。審査にあたっては、応募事業の関連担当部による評価および協働推進課が参考資料として作成して下さった団体収支決算状況などを参考にしつつ、審査委員会の各委員の評価を持ち寄って、評価基準に基づき厳正な審査を行いました。

結果は、「活動支援部門」では 19 事業のうち 11 事業が採択されました（採択率 58%）。但し、採択された 11 事業のうち要望を付した事業が 3 事業となっておりますことを付け加えさせていただきます。また、「事業実施部門」では 33 事業のうち、24 事業が採択されました（採択率 73%）。採択された 24 事業のうち要望を付した事業が 2 事業、申請額より減額した事業は 12 事業となっております。また、審査期間中に 2 事業の取り下げがありましたことも付け加えておきます。以上のように、応募事業の実施計画・収支計画を精査し、採択事業を選択する中で、事業によっては減額での補助とし、結果として、採択事業の合計金額は 9,806,000 円となりました。

さて、本審査結果は、「活動支援部門」においては、「公益性」「期待度」を審査項目として、「事業実施部門」においては、「計画性」「社会貢献度」「ニーズの高さ」「創意工夫」を審査項目として審査し、これらの項目をどれだけ満たしているかの総合的な評価方式によ

り補助金交付が決定されることとなります。それ故、不採択となった各事業は、それぞれ該当する部門のいずれの項目かもしくは複数の審査項目が満たされておらず、「補助金交付の必要性」が認められなかったと審査委員会が判断したものです。「不採択」となった事業の中で、今年度の審査委員会で議論になったのは、果たして申請された事業が、市民企画事業補助金の趣旨・目的に合っているかという点であり、また本補助金の二つの応募部門（「活動支援部門」または「事業実施部門」）の選択が的確であるかという点でありました。応募団体の皆様には本補助金への応募に際してはこれらの点をご再考いただき、あらためて本補助金の趣旨・目的、要件などについて一層のご理解を要望いたします。なお、不採択となった事業については、詳しくは審査結果に付されたコメントをお読み下さり、ご理解いただきたく存じます。

また、今年度の審査結果の特徴として、申請額からの減額が目立ちます。その理由は、これも審査結果に付されたコメントをお読み下さればご理解いただけると思いますが、主な理由として、事業の実施計画や収支計画が、適切に計画されていないことが指摘できます。このことは、昨年度の講評で指摘させていただいた「出版事業」の問題とも重なります。昨年度の講評において、同一団体が出版事業をシリーズ化して応募するのは本補助金の主旨に合わないのではないかと述べさせていただきましたが、今年度も「出版事業」に関する応募事業が複数あり、過去に作成したものと差別化が出来ないまま継続の申請があったものや、収支計画に精査を要するものも見受けられました。是非とも、本補助金の趣旨・目的をご理解いただき、また、応募される事業の趣旨・目的に見合った実施計画および収支計画の作成を要望するものです。

以上、簡単ではありますが、採択された事業におかれましては本補助金が有効に活用されますことをお願いして、平成22年度市民企画事業補助金審査の結果報告と講評を終えます。

以 上

平成22年度 市民企画事業補助金

受付 番号	事業名	団体名	要望額(円)
A-新-1	歌おう会普及活動	みんなで歌おうサークル	100,000
A-新-2	幼少児童との「防火ふれあい会」	防火支援ボランティアFOB八王子	100,000
A-新-3	親子で楽しむ陶芸教室	特定非営利活動法人 発達支援の会 未来	100,000
A-新-4	わら細工文化の啓発と技術の伝承	わら細工の会 円座	100,000
A-新-5	自転車の道路交通法令に関する講演会開催事業	一般社団法人自転車道路交通法研究会	100,000
A-新-6	八王子の名所をテーマにしたコンサートの実施	音楽演奏活動団体 ENDLESS RHYTHM	100,000
A-新-7	自然体験活動に関する事業	滝山ネイチャークラブ	100,000
A-新-8	会の広報用パンフレットの作成	めじろ台安心ねっと	100,000
A-新-9	もっと知ろう！日本と八王子 -多摩地区在住外国人との交流会-	Foliage(フォーリッジ)	100,000
A-新-10	Pulemyuふれみゆう 第2回音楽祭り あいのてさんと遊ぼう！	特定非営利活動法人 Pulemyuふれ みゆう	100,000
A-新-11	障害者を対象としたアートクラブ アトリエ「響」	アトリエ「響」	100,000
A-新-12	チャーム活動普及事業	ハートフルメイクボランティア・チャーム	100,000
A-新-13	楽しい介護予防の音楽セミナー	八王子音楽療法研究会	100,000

審査委員会 審査結果(A 活動支援部門)

審査結果						
得点数	補助金交付の必要性を有りとした委員数	優先順位	採 択	審査委員会としての意見 (不採択の場合にはその理由)	補助予定金額(円)	受 付 番 号
18	0	18	不可	一般のサークル活動との差異が認められず、補助金交付の必要性は認められないため、不採択としました。	0	A-新-1
34	6	4	可	(特段の意見はありません。)	100,000	A-新-2
34	6	4	可	(特段の意見はありません。)	100,000	A-新-3
35	6	3	可	(特段の意見はありません。)	100,000	A-新-4
24	3	15	不可	交通安全協会などが実施する既存事業と重複していることから補助金交付の必要性が認められないため、不採択とします。	0	A-新-5
17	1	19	不可	事業内容に具体性が欠ける事や、事業の公益性について疑問があるなど、補助金の必要性が認められないため、不採択としました。	0	A-新-6
27	5	8	可	会費のような団体の基礎財源を持つなど、自立に向けた方策を検討する事を要望します。	100,000	A-新-7
32	4	6	可	印刷製本費について経費削減の方策を検討する事を要望します。	100,000	A-新-8
21	4	17	不可	市内に類似団体が数多くあり、事業実施にはそれらの団体との連携が不可欠と考えました。今回の内容については補助金交付の必要性は認められないため、不採択とします。今後、市内の国際交流団体との連携を図るなど、事業の見直しを図った上での再チャレンジを期待します。	0	A-新-9
25	3	12	不可	事業目的については認めますが、事業の形態については必然性を感じませんでした。事業内容を再検討のうえ、またの応募を期待します。	0	A-新-10
25	4	12	不可	事業の意義については認めますが、受益者が限られ、事業の広がりについて疑問があるため、不採択とします。	0	A-新-11
27	5	8	可	(特段の意見はありません。)	100,000	A-新-12
27	6	8	可	(特段の意見はありません。)	100,000	A-新-13

受付番号	事業名	団体名	要望額(円)
A- -1	「家族で楽しむ物作り」体験教室	特定非営利活動法人 建物相談室五色会	100,000
A- -2	要約筆記啓発講座	八王子要約筆記サークルそらの会	100,000
A- -3	ポレポジさぼーと	ポレポジさぼーと	95,000
A- -4	民間レベルの日中友好活動の基礎作り	八王子市日本中国友好協会	100,000
A- -5	メディエーション(和解支援)紹介普及活動	草の根メディエーション(和解支援)の会	73,000
A- -6	地域ふれあい事業	八王子地域ふれあい親子会	100,000
計			1,868,000

審 査 結 果						
得点数	補助金交付 の必要性を 有りとした委 員数	優先 順位	採 択	審査委員会としての意見 (不採択の場合にはその理由)	補助予定 金額(円)	受 付 番 号
28	6	7	可	(特段の意見はありません。)	100,000	A- -1
36	6	2	可	(特段の意見はありません。)	100,000	A- -2
37	6	1	可	(特段の意見はありません。)	95,000	A- -3
24	1	15	不可	事業の内容や、団体の決算状況などから既に活動支援部門で補助を受ける段階は終わっていると考えます。事業計画を再考の上、事業実施部門での応募を期待します。	0	A- -4
26	4	11	可	事業の意義については理解できることから、補助を決定しましたが、平成21年度の事業実績の低さが気になります。多くの市民が利益を享受できるよう、PR方法の工夫を要望します。	73,000	A- -5
25	4	12	不可	平成21年度の進捗状況から、計画性に不安がある事は認めません。長期的視野に立った連携づくりを進めてから、またの応募を期待します。	0	A- -6
					1,068,000	

平成22年度 市民企画事業補助金

受付 番号	事業名	団体名	要望額(円)
B-新-1	八王子陵南公園さくら祭り	特定非営利活動法人 八王子さくらの会	1,000,000
B-新-2	いきいきときめき 計算大会	ICA国際電卓協会	100,000
B-新-3	生涯学習の集いインかわぐち	八王子生涯学習コーディネーター会	71,000
B-新-4	音楽療法による教育・子育て・地域支援事業	特定非営利活動法人 音楽療法NPOムジカトゥッティ	870,000
B-新-5	浅川土手への桜の植樹事業	八王子是市民の会	500,000
B-新-6	講演と視覚障害者音楽家による演奏会 21世紀の青少年へのメッセージ“未来への夢と努力と”	東京八王子プロバスケット	850,000
B-新-7	地域学からみた八王子像	八王子学会	400,000
B-新-8	『絆(～きずな～)の創造』コンサート	八王子シティオーケストラ	755,000
B-新-9	障害者ケアサポートプラン[知的障害者]	特定非営利活動法人 日本ウェルネット	890,000
B-新-10	八王子おやじ旅券(小冊子)の発行	創快おやじ倶楽部	200,000
B-新-11	八王子現代家具工芸学校	家具のまち八王子	1,000,000
B-新-12	「知っていますか、長安を…」	とんとんむかしの会	671,000
B-新-13	電磁波調べ隊	電磁波のことを調べていっしょに考える会	77,000
B-新-14	市民討議会	市民討議会実行委員会	200,000

審査委員会 審査結果(B 事業実施部門)

審査結果				審査委員会としての意見 (不採択の場合にはその理由)	補助予定 金額(円)	受付 番号
得点数	補助金交付 の必要性を 有りとした委員 数	優先 順位	採 択			
52	4	19	可	事業の意義については認めますが、熱気球については事業における必然性が感じられないため、熱気球の部分を対象外とし、補助金の交付を決定します。	841,000	B-新-1
54	4	16	可	計算大会の実施にあたり、八王子市民の参加を多く得るためのPRを行うことを要望します。	100,000	B-新-2
64	6	8	可	(特段の意見はありません。)	71,000	B-新-3
56	4	14	可	事業の意義については認めますが、DVD作成については事業における必然性が感じられないことから対象外とします。また、謝礼などに経費をかけ過ぎている印象が否めない事から、減額しての補助を決定します。	615,000	B-新-4
30	0	31	不可	事業の計画性に欠けることや、維持管理の部分が不明瞭な点などから、補助金の必要性が認められないため、不採択とします。	0	B-新-5
52	4	19	可	参加費の徴収など、自立に向けての方策を検討して欲しいと思います。減額しての補助とします。	500,000	B-新-6
51	4	21	可	事業の意義は認めますが、収支計画に疑問を感じます。収支計画について見直しを前提に、減額しての補助とします。	200,000	B-新-7
55	6	15	可	(特段の意見はありません。)	755,000	B-新-8
65	6	7	可	(特段の意見はありません。)	890,000	B-新-9
50	5	24	可	事業の意義は認めますが、収支計画に疑問を感じます。収支計画の見直しを前提に、減額しての補助とします。	100,000	B-新-10
53	4	17	可	事業目的を考え、自己資産としての意味合いの強い機器については対象外とし、減額しての補助とします。また、対象が限定され過ぎないように、イベントや講座など、広く市民に利益が還元されるような仕組みづくりを検討する事を要望します。	750,000	B-新-11
53	5	17	可	案内標識の設置については、実現性に問題があるため対象外とします。また、マップおよび小冊子の部分については自助努力による発行を期待し、その部分を除いた、他の調査費用・講演会費用などを対象とし、補助を決定します。	207,000	B-新-12
38	1	29	不可	電磁波による健康被害についての声がある事は理解できますが、現状の法制度上問題が無く、WHOや国も含め、携帯電話の電波塔からの電磁波について、健康被害を及ぼすかどうかの明確な見解は出されていない状況では補助金を交付して行う事業ではないと考え、不採択とします。	0	B-新-13
40	1	28	不可	事業内容の具体性や継続性に疑問が残ることから、補助金交付の必要性は認められないため、不採択としました。	0	B-新-14

受付番号	事業名	団体名	要望額(円)
B-新-15	靴下ペットボトルカバー「ぼとるちゃん」	八王子こころの会	500,000
B-新-16	みなみおおさまイラストマップ	南大沢を知ってほしい会	800,000
B-新-17	うたごえで人の輪と交流の場、良い街作りを目指してうたごえ喫茶in八王子	八王子うたごえの会	186,000
B-新-18	市民参加型 シアタープロジェクト	八王子シアタープロジェクト	434,000
B-新-19	国際平和と文化のつどい in 八王子	邦楽合奏団 華組	250,000
B-新-20	小中学生向け専門家養成講座およびコンテスト	八王子学研究会	994,000
B-新-21	大人の女性のゼミ～ママが学んでおきたいこと～	f-SHIP	210,000
B-新-22	「みんなの力」成年後見センター事業	社団法人「みんなの力」成年後見センター	1,000,000
B-新-23	HACHIOUJIKKO元気プロジェクト	八王子・子どもの居場所づくりプロジェクト	400,000
B-新-24	はじめてみよう「身近な科学体験」	八王子青年団体連絡協議会	540,000
B-新-25	里親制度を正しく知ってもらうための活動	里親ひろば ほいっぴ八王子	256,000
B- -1	デイズー図書の作製	南大沢音訳の会「こだま」	59,000
B- -2	「花の高尾山へようこそ」写真集出版	高尾山の花名さがし隊	200,000
B- -3	認知症:集いの場&支援ネットワーク拠点をつくる	特定非営利活動法人 らいふねっとMOE	400,000
B- -4	絵と語り付きクラシックコンサート	絵と語り付きクラシックコンサート実行委員会	147,000
B- -5	地球冒険学校交流セミナー	特定非営利活動法人 地球冒険学校準備会	337,000

審査結果						
得点数	補助金交付の必要性を有りとした委員数	優先順位	採 択	審査委員会としての意見 (不採択の場合にはその理由)	補助予定金額(円)	受 付 号
34	1	30	不可	事業内容の公益性や、実施内容に疑問が残ることから、補助金交付の必要性は認められないため、不採択としました。	0	B-新-15
51	4	21	可	事業の意義は認めますが、収支計画に疑問を感じます。無理の無い範囲で実施をしていただきたいと考えます。よって、収支計画の見直しを前提に、減額しての補助とします。	400,000	B-新-16
43	3	26	不可	会員や参加者による受益者負担で対応する内容と考えます。補助金交付の必要性は認められないため、不採択としました。	0	B-新-17
		32		(平成22年1月10日付けで取下げ)		B-新-18
41	3	27	不可	今回の応募内容からは、八王子で実施する事の必要性を感じられないことから、不採択としました。	0	B-新-19
51	5	21	可	事業内容の意義は理解できますが、パソコン購入費については過去の市民企画事業補助金事業で購入したものなどによる対応が可能と考え、対象外とします。また、今回の応募事業の規模を考え、謝礼等の見直しを期待し、減額での補助とします。	447,000	B-新-20
60	6	11	可	(特段の意見はありません。)	210,000	B-新-21
				(平成22年1月22日付けで取下げ)		B-新-22
64	6	8	可	(特段の意見はありません。)	400,000	B-新-23
66	6	4	可	補助金交付の可否について全員が可としているが、事業規模を考えると指導者報酬などの部分で費用をかけすぎているとの意見が委員会内でも挙がったため、減額での補助とします。	429,000	B-新-24
66	6	4	可	(特段の意見はありません。)	256,000	B-新-25
71	5	2	可	(特段の意見はありません。)	59,000	B- -1
50	3	24	不可	昨年度は事業の公益性を認め補助を決定しましたが、今回の応募内容については改めて補助を行う必要性が認められないため、不採択としました。	0	B- -2
70	6	3	可	(特段の意見はありません。)	400,000	B- -3
66	6	4	可	(特段の意見はありません。)	147,000	B- -4
64	6	8	可	(特段の意見はありません。)	337,000	B- -5

受付 番号	事業名	団体名	要望額(円)
B- -1	夢あるまちづくり	夢あるまちづくり協議会	200,000
B- -2	親子ふれあいキャンプ2010	はちおうじユースネットサービス	564,000
B- -3	市民参加型 援農活動による農業活性化-	特定非営利活動法人 すずしろ22	120,000
計			15,181,000

審 査 結 果						
得点数	補助金交付 の必要性を 有りとした委 員数	優先 順位	採 択	審査委員会としての意見 (不採択の場合にはその理由)	補助予定 金額(円)	受 付 番 号
58	4	12	可	今後補助金が無くなり、自立した活動をしていく事を考慮すると、自治組織等の地域団体と連携を深め、事業に見合った負担金を増やす必要があると考えます。そのため、要望額から減額しての補助とします。	140,000	B- -1
58	5	12	可	参加費の増額や、印刷製本費の削減など、今後自立に向けての改善が必要と考えます。要望額から減額しての補助とします。	364,000	B- -2
76	6	1	可	(特段の意見はありません。)	120,000	B- -3
					8,738,000	

参 考 资 料

八王子市市民企画事業補助金審査委員会

【委員名簿】

任期 平成 21 年 6 月 ~ 22 年 6 月

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

	氏 名	所 属
委員 長	和 田 清 美	首都大学東京 都市教養学部 都市政策コース 教授
副委員 長	前 野 修	八王子市町会自治会連合会 事務局長
委 員	大 野 貴 広	八王子学生委員会 (法政大学 社会学部)
委 員	甘 利 昌 史	株式会社東京新聞ショッパー社 八王子支社 編集長補佐
委 員	中 野 昇	オリンパス株式会社コーポレートセンター 八王子総務部 設備環境グループ 環境チームリーダー
委 員	江 頭 晃 子	特定非営利活動法人 市民活動サポートセンター・アンティ多摩 事務局長

【開催状況】

開催年月日	開催時刻	会 場	内 容
平成 21 年 8 月 19 日 (水)	14:00 ~ 16:00	刈代ホール 第 7 学習室	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長の選任 ・22 年度補助事業の募集について ・22 年度審査の方法及び日程について ・21 年度補助事業情報交換会について
平成 22 年 2 月 6 日 (土)	10:30 ~ 18:30	刈代ホール ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・公開プレゼンテーション審査 (事業実施部門)
平成 22 年 2 月 23 日 (火)	13:30 ~ 18:00	刈代ホール 第 5 学習室	<ul style="list-style-type: none"> ・最終審査 (活動支援部門・事業実施部門)

八王子市市民企画事業補助金交付要綱

(総則)

第1条 この要綱は、市民企画事業補助金について、補助金等の交付の手續等に関する規則（昭和35年八王子市規則第19号。以下「規則」という。）第5条に基づき、規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(補助の目的)

第2条 市民活動団体が自ら企画実施する公益的な事業に要する経費の一部を市が補助することにより、市民の創意による地域の実情に即した公共サービスの充実と市民活動の活性化を図るとともに、市と市民との協働のまちづくりを推進することを目的とする。

(補助の対象となる事業)

第3条 補助の対象となる事業（以下「補助対象事業」という。）は、別表に定める要件を満たす事業とする。

(補助金の額)

第4条 補助金の額は、別表に定めるところにより市の予算の範囲内において決定する。

(補助対象事業の公募)

第5条 市長は、補助対象事業を期間を定めて募集するものとする。

2 市長は、補助対象事業の募集に先立ち、募集要項を定めて公表しなければならない。

3 前項の募集要項には、補助対象事業の審査方法を明記しなければならない。

(補助金の申し込み)

第6条 前条の募集に応じて申し込みをしようとする団体（以下「応募団体」という。）は、次に掲げる応募書類及びその付属資料により行うこととし、前条第2項の募集要項で指定する期日までに市長に提出しなければならない。

(1) 「市民企画事業補助金交付申込書」(様式1)

(2) 「市民企画事業実施計画書」(様式2)

(3) 「市民企画事業収支計画書」(様式3)

(補助対象事業の選考及び通知)

第7条 市長は、前条の規定による応募書類の提出を受けた事業について、別に定める審査方法により審査しなければならない。

2 市長は、前項による審査の結果を受けて補助金を交付することが適当であると認められる事業を選考したときは、「市民企画事業補助金交付対象事業選考結果通知書」(様式4)により、速やかに当該応募団体に通知しなければならない。

(補助金交付の申請及び決定)

第8条 前条により補助金交付対象事業として補助金交付予定額の通知を受けた団体は、所定の期日までに、規則第6条の規定による申請を「市民企画事業補助金交付申請書」様式5により行わなければならない。

2 市長は、前項の規定による申請を受けたときは、その内容が前条第1項の審査の際と変わらない（軽微な変更は除く）限りにおいて、速やかに補助金の交付を決定し、申請者に「市民企画

事業補助金交付決定通知書」(様式6)により通知しなければならない。

(交付決定状況の公表)

第9条 市長は、前条第2項により補助金の交付を決定したときは、補助対象事業、補助金の交付を受ける団体(以下「補助団体」という。)の名称及び補助金交付決定額を公表しなければならない。

(補助金の交付)

第10条 補助金は、第8条第2項の規定による交付決定の後、速やかに交付する。

(補助対象事業計画の変更等)

第11条 規則第10条の規定による申請については、「市民企画事業補助金交付事業変更・中止申請書」(様式7)によることとする。

2 市長は、前項の規定による承認をしたときは、補助金の交付の決定を取り消し、又は変更することができる。

(事業報告)

第12条 規則第12条の規定による報告は、次に掲げる事業報告書類によることとする。

(1) 「市民企画事業補助金交付事業実績報告書」(様式8)

(2) 「市民企画事業補助金成果報告書」(様式9)

(3) 「市民企画事業補助金交付事業収支決算書」(様式10)

(補助金額の確定)

第13条 市長は、前条の規定により事業報告書類の提出を受けたときは、規則第13条の規定により交付すべき補助金の額を確定し、「市民企画事業補助金確定通知書」(様式11)により補助団体に通知する。

(事業実績の公表)

第14条 市長は、前条の規定による補助金等の額を確定したときは、補助対象事業の成果について市民に公表するものとする。

2 補助団体は、市が主催する事業報告会や市が発行する事業成果報告書において補助対象事業の成果を発表し、市民からの理解を得られるよう努めるものとする。

(普及広報)

第15条 補助団体は、補助金の交付を受けた事業を実施するときは、ポスター・チラシ等の作成にあたり別に定める基準により表示を行うものとする。

(担当部の指定等)

第16条 市長は、第6条の規定による応募書類の提出を受けたときは、応募された補助対象事業の内容に関係する事務を分掌する部を担当部として指定するものとする。

2 指定された担当部の長は、部内で特に補助対象事業の内容に関連する所管を担当課として定め、市長に報告するものとする。ただし、市長は特に必要があるときは、担当部の指定に合わせ担当課の指定を行うことができるものとする。

3 市長は、第7条に規定する審査、第11条に規定する変更又は中止の承認及び第13条に規定する補助金額の確定を行うにあたり、担当部に意見を求めるものとする。

4 第2項の規定による担当課は、第2条に規定する補助の目的を達成するため、補助団体との

情報交換に努めるものとする。

(事務所管)

第 17 条 この要綱に基づく補助金に関する事務は、市民活動推進部協働推進課において処理する。

(補則)

第 18 条 この要綱に定めるもののほか、補助金の交付について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 15 年 5 月 21 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 15 年 11 月 14 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 16 年 4 月 21 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 16 年 9 月 30 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 17 年 8 月 11 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 17 年 11 月 14 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 18 年 8 月 28 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 19 年 9 月 25 日から施行する。

別表（第3条及び第4条関係）

補助対象事業及び補助金の額

応募部門		A 活動支援部門	B 事業実施部門
		既に公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介する事業に要する経費を補助する。 ただし、計画段階の事業費が5万円以上のものとする。	
補助の対象（掲げている要件全てに該当する事業であること）	補助を受ける団体の要件	<ol style="list-style-type: none"> 1 非営利かつ、市民生活における不特定多数の利益に寄与し、自発的に、自主・自立した運営を継続的に行う団体であること。（法人格の有無は問わない。） 2 市内に活動拠点を持っていること。 3 構成員5人以上のグループで、構成員に複数の市民（市内在住・在勤・在学）を含むこと。 4 政治活動及び宗教活動を主たる目的としないこと。 5 特定の公職者（候補者を含む）又は政党を推薦、支持、反対することを目的としないこと。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 同左 2 市内に活動拠点を持っていること。又は、市内で活動しており市内に連絡先を確保できること。 3 同左 4 同左 5 同左
	実施する事業の要件	<ol style="list-style-type: none"> 1 公益性が認められること。 2 市内で実施されること。 3 計画から実施まで責任を持って遂行できること。 4 交付決定の属する年度の4月から3月までの間に実施する事業であること。 5 政治活動及び宗教活動を目的としないこと。 6 特定の公職者（候補者を含む）又は政党を推薦、支持、反対することを目的としないこと。 7 市、市の外郭団体、国及び地方自治体で実施している他の財政的支援制度の対象とならないこと。 8 第5条第2項で定める募集要項の補助対象の要件にあてはまること。 9 上記1～8の要件のほか、法令に違反しないこと。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 同左 2 市内で実施されること又は市民の参加により実施され、地域社会の健全な発展に寄与すること。 3 同左 4 同左 5 同左 6 同左 7 同左 8 同左 9 同左
補助額等	金額	1件当たり対象事業費の10/10以内 上限10万円	1件当たり対象事業費の1/2以内 又は100万円のいずれか低い額 2回目以降対象事業費の1/3以内 又は前回交付決定額の80%いずれか低い額 ただし、事業の性質上審査委員会で特に認めた場合はとする。
	交付額の単位	千円単位（千円未満切り捨て）	千円単位（千円未満切り捨て）
備考		同一団体に対する補助金の交付は2回までとする。 ただし、応募の都度、当該年度予算の範囲内で、審査により決定する。	同一事業に対する補助金の交付は、3回までとする。複数年にわたる補助を希望する場合は、初年度応募時にあらかじめその旨を事業計画書に明記するものとする。 ただし、2回目、3回目についてもその都度応募し、当該年度予算の範囲内で、審査により決定する。

平成 22 年度 八王子市『市民企画事業補助金』補助対象事業募集要項

1. 趣 旨

市民企画事業補助金は、**市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業**について、市がその経費の一部を補助するものです。

この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は**公募**とし、**厳正な審査を経て決定**します。

2. 応募できる団体

応募できる団体は、次に掲げる要件を**全て**満たす団体です。

		A 活動支援部門	B 事業実施部門
共通 項目		非営利かつ、市民生活における不特定多数の利益に寄与し、自発的に、自主・自立した運営を継続的に 行う団体であること。(法人格の有無は問いません。)	
		構成員 5人以上のグループ で、構成員に複数の市民(市内在住・在勤・在学)を含むこと。	
		政治活動及び宗教活動を目的とする団体ではないこと。	
		特定の公職者(候補者を含む)又は政党を推薦、支持、反対することを目的とする団体ではないこと。	
個別 項目		市内に活動拠点を持っていること。	市内に活動拠点を持っているか、又は市内で活動しており、市内に連絡責任者を確保できること。

3. 応募対象事業の種類(部門)

補助対象事業は、以下の**2部門**に分けて募集し、決定します。応募することができるのは**A活動支援部門、B事業実施部門**、合わせて**1団体1事業**です。

		A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容		この部門では、すでに公益的な活動に取り組んでいる、又はこれから取り組もうとする 団体の活動を紹介するために要する経費 の補助をします。ただし、計画段階での事業費が 5万円以上 のものとなります。	この部門では、 市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部 を補助します。ただし、計画段階での事業費が 10万円以上 のものとなります。
補助金額		必要な経費の 10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	必要な経費の 2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) 2回目以降は対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。 ただし、事業の性質上審査委員会で特に認め た場合は、 とします。
補助回数		同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

4 . 対象となる事業の条件

補助対象事業は、次に掲げる要件を**全て**満たす必要があります。

		A 活動支援部門	B 事業実施部門
共通 項目		公益性が認められること。	
		計画から実施まで責任を持って遂行できること。	
		平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月までの間に実施する事業 であること。	
		政治活動及び宗教活動を目的としないこと。	
		特定の公職者（候補者を含む）又は政党を推薦、支持、反対することを目的としないこと。	
		市、市の外郭団体、国や他の地方自治体で実施している他の財政的支援制度の対象とならないこと。	
		上記 ~ の要件のほか、法令等に違反しないこと。	
個別 項目		市内で実施すること。	市内で実施されるか、又は市民の参加により実施され、地域社会の健全な発展に寄与すること。

5 . 補助対象外の経費

補助の対象となる経費は、補助対象事業の実施に必要な経費ですが、**以下のものは補助の対象から除きます。**

- (1) 団体の経常的な活動に要する経費
例) 家賃、電話及びインターネット通信料、登録組織等への会費、事務局に係る経費 etc
- (2) 団体の構成員の飲食や親睦に要する経費
- (3) 不動産及び高額な備品（おおむね 20 万円以上）の購入費

6 . 募集説明会の開催

募集開始にあたり、下記のとおり説明会を開催し、申込手続きや制度の概要等についての説明を行います。応募を予定している団体関係者は、ぜひご出席下さい。（事前申込不要）

【日 時】平成 21 年 10 月 24 日(土) 午後 2 時～ 4 時（午後 1 時 30 分開場）

【会 場】クリエイトホール 11 階 第 7 学習室（東町 5-6）

7 . 募集期間（応募書類の受付期間）

平成 21 年 10 月 26 日(月)～ 11 月 27 日(金)必着（協働推進課まで提出もしくは郵送）

パソコンを使用して書類を作成した団体は、電子データも併せて提出してください。

8 . 応募相談

協働推進課では、応募予定団体を対象に、申込手続きや制度の概要等についての相談を随時受け付けます。出来るだけ事前にご連絡いただいた上、お越し下さい。

9. 提出書類

応募にあたっては、下表に掲げる書類を提出していただきます。

【凡例】 〇：必要 半〇：場合により必要 ×：不要

	書類の名称	A 部門		B 部門	
		新規	継続	新規	継続
様式 1	交付申込書 押印が必要です。				
付属資料	平成 21 年度事業の進捗状況	×		×	
付属資料	過去 3 年間の活動実績	×	×		×
様式 2	実施計画書				
付属資料	複数年度の事業計画書 複数年度にわたり補助金に応募する予定の場合				
様式 3	収支計画書				
様式自由	団体の定款・会則				
様式自由	団体の最新の決算書				

10. 審査方法

補助対象事業の審査は、市民企画事業補助金審査委員会(委員は下表のとおり)により、応募書類に基づく書類審査、及び公開プレゼンテーション(B事業実施部門についてのみ)を行うほか、継続事業については、前年度事業の進捗状況の内容も参考にした上で審査します。

また、審査委員会での審査に先立ち、応募事業の内容に関連する担当部による、面接等での応募書類の確認や事業内容の評価を行い、審査委員会での審査では、その結果や市民コメント(後述)も参考にします。

応募にあたっては、以下の項目を考慮してご記入願います。

(1) 担当部による評価項目

A 活動支援部門		B 事業実施部門	
公益性	活動目的や内容が明確で公益性が認められるか。	政策 合致性	実施効果が「ゆめおりプラン」の目指す方向と一致しているか。
期待度	将来、独自性や専門性を活かしたサービスの提供ができるか。	計画性	事業内容、収支内容、実施体制などが適切か。具体的な効果が望めるか。
		八王子らしさ	「オンリーワンのまちづくり」に寄与するものか。八王子の歴史、伝統、文化、自然などを活かすものか。

(2) 審査委員会による審査項目

次の項目について、**5段階での採点**を行います。ただし、各部門における項目「補助金交付の必要性」については、採点ではなく「あり」、「なし」の判断となります。

A 活動支援部門		B 事業実施部門	
公益性	活動目的や内容が明確で公益性が認められるか。	計画性	事業内容、収支内容、実施体制などが適切か、具体的な効果が望めるか。また継続事業の場合、継続の必要性があるか。
期待度	将来、独自性や専門性を活かしたサービスの提供が期待できるか。	社会貢献 度	地域社会の健全な発展に寄与するものであるか。
補助金交付 の必要性		ニーズの 高さ	市民のニーズが高いか。
		創意工夫	独自の発想やノウハウ、専門性を持っているか。また、可能性を秘めているか。
		補助金交付 の必要性	

(3) 市民企画事業補助金審査委員会委員

	氏名	所属
委員長	和田 清美	首都大学東京 都市教養学部 都市政策コース 教授
副委員長	前野 修	八王子市町会自治会連合会 事務局長
委員	大野 貴広	八王子学生委員会（法政大学 社会学部）
委員	甘利 昌史	株式会社東京新聞ショッパー社 八王子支社 編集長補佐
委員	中野 昇	オリンパス株式会社コーポレートセンター 八王子総務部 設備環境グループ 環境チームリーダー
委員	江頭 晃子	特定非営利活動法人 市民活動サポートセンター・アンティ多摩 事務局長

審査委員会による審査結果（補助対象事業の選考及び交付額の査定結果）は市長に報告され、補助金の交付の決定は市長が行います。

11. 公開プレゼンテーションの実施

「B事業実施部門」に応募された事業については、審査において一般公開でプレゼンテーションを行います。

【日時】平成22年2月6日(土)

【会場】北野市民センター ホール（北野町545-3）

開催時間は、応募件数を確認後決定し、応募団体に通知します。

市民への周知は、広報「はちおうじ」1月15日号及び市ホームページで行います。

12. 市民参加

公開プレゼンテーションに参加した市民は、応募事業についての意見を市民コメントシートで提出することができます。提出された市民コメントは、審査の参考資料として、「市民企画事業補助金審査委員会」に提出します。

13. 結果の公表

審査の結果は、広報はちおうじ、市ホームページで公表します。

14. 普及広報

市民企画事業補助金制度を市民の方により知っていただくために、補助金交付を受けた団体は補助事業を行う際にポスターやチラシ等に市民企画事業補助金交付対象事業である旨の表示をしていただきます。

15. 事業成果の公表

補助金交付を受けた団体には、補助事業終了後、事業報告書類を提出していただきます。このほか、市が開催する情報交換会や、事業の成果を発表する一般公開の成果報告会等に参加していただきます。また、市が事業成果報告書を作成する際には、原稿寄稿などの協力をお願いします。

お問い合わせ・応募書類等の提出先 八王子市 市民活動推進部 協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町3丁目24番1号（八王子市役所本庁舎8階）

電話：042-620-7401 FAX：042-626-0253

Eメールアドレス：b050700@city.hachioji.tokyo.jp

ホームページアドレス：<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatudo/shiminkikaku/kikakujigyo.html>

（こちらから応募様式のダウンロードができます。また、過去に補助を受けた事業等がご覧いただけます。）

市民企画事業補助金審査委員会設置要綱

(設置)

第1条 市民企画事業補助金交付要綱に基づき、市民活動団体から補助の申請があった事業(以下「申請事業」という。)について、適正かつ客観的に審査するため、市民企画事業補助金審査委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 八王子市市民企画事業補助金(以下「補助金」という。)の申請事業の審査に関する事項
- (2) 補助金の執行、運営に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、委員7名以内をもって組織する。

2 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 市内大学に在学する者
- (3) その他市長が必要と認めたもの

3 委員会の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし委員に欠員が生じた場合における後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(意見の聴取等)

第6条 委員会は、審査のため必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聞き、又は必要な調査をすることができる。

(報告)

第7条 委員長は、申請事業の審査結果について、市長に報告書を提出しなければならない。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、市民活動推進部協働推進課において行う。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成15年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年8月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年6月1日から施行する。

参考：平成22年度 市民企画事業補助金 事業担当課一覧

区分	受付番号	事業名	団体名	担当課							
A 活動 支援 部門	新 2	幼少児童との「防火ふれあい会」	防火支援ボランティアF08八王子	防災課	子育て支援課						
	新 3	親子で楽しむ陶芸教室	特定非営利活動法人 発達支援の会-未来	指導室	障害者福祉課	子ども家庭支援センター					
	新 4	わら細工文化の啓発と技術の伝承	わら細工の会 円座	文化財課							
	新 7	自然体験活動に関する事業	滝山ネイチャークラブ	農林課	子どものしあわせ課	環境政策課					
	新 8	会の広報用パンフレットの作成	めじる台安心なっと	協働推進課	高齢者支援課						
	新 12	チャーム活動普及事業	ハートフルメイクボランティア・チャーム	高齢者支援課	保健総務課						
	新 13	楽しい介護予防の音楽セミナー	八王子音楽療法研究会	高齢者支援課							
	1	「家族で楽しむ物作り」体験教室	特定非営利活動法人 建物相談室 五色会	子どものしあわせ課							
	2	要約筆記啓発講座	八王子要約筆記サークルそらの会	障害者福祉課							
	3	ボレボジさぼーと	ボレボジさぼーと	指導室	障害者福祉課						
5	メディエーション（和解支援）紹介普及活動	草の根メディエーション（和解支援）の会	暮らしの安全安心課	生涯学習総務課							
B 事業 実施 部門	新 1	八王子陵南公園さくら祭り	特定非営利活動法人 八王子さくらの会	環境保全課	水循環室（水行政担当）	観光課	公園課				
	新 2	いきいき ときめき 計算大会	ICA国際電卓協会	高齢者支援課	産業政策課						
	新 3	生涯学習の集いイなかわぐち	八王子生涯学習コーディネーター会	生涯学習総務課							
	新 4	音楽療法による教育・子育て・地域支援 事業	特定非営利活動法人 音楽療法NPO ムジカトゥッティ	障害者福祉課	子ども家庭支援センター						
	新 6	講演と視覚障害者音楽家による演奏会「21世紀の青少年へのメッセージ・未来への夢と努力と」	東京八王子プロバスクラブ	指導室	学習支援課						
	新 7	地域学からみた八王子像	八王子学会	文化財課	市史編さん室						
	新 8	『絆（きずな）の創造』コンサート	八王子シティオーケストラ	学園都市文化課	高齢者支援課	障害者福祉課					
	新 9	障害者ケアサポートプラン[知的障害者]	特定非営利活動法人 日本ウェルネット	障害者福祉課							
	新 10	八王子おやじ旅券（小冊子）の発行	創快おやじ倶楽部	協働推進課	高齢者支援課						
	新 11	八王子現代家具工芸学校	家具のまち八王子	産業政策課							
	新 12	「知っていますか、長安を・・・」	とんとんむかしの会	文化財課	観光課						
	新 16	みなみおおさまイラストマップ	南大沢を知ってほしい会	産業政策課							
	新 20	小中学生向け専門家養成講座およびコンテスト	八王子学研究会	指導室							
	新 21	大人の女性のゼミ-ママが学んでおきたいこと-	f-SHIP	男女共同参画課	学習支援課	子ども家庭支援センター					
	新 23	HACHIOUJIKKO元気プロジェクト	八王子・子どもの居場所づくりプロジェクト	学園都市文化課	指導室	生涯学習総務課	子どものしあわせ課				
	新 24	はじめてみよう「身近な科学体験」	八王子青年団体連絡協議会	指導室	こども科学館						
	新 25	里親制度を正しく知ってもらうための活動	里親ひろばほいっぷ八王子	子ども家庭支援センター							
	1	デジ図書の作製	南大沢音訳の会「こだま」	高齢者支援課	障害者福祉課	図書館					
	3	認知症：集いの場&支援ネットワーク拠点をつくる	特定非営利活動法人 らいふねっとMOE	高齢者支援課							
	4	絵と語り付きクラシックコンサート	絵と語り付きクラシックコンサート実行委員会	学園都市文化課	学習支援課						
	5	地球冒険学校交流セミナー	特定非営利活動法人 地球冒険学校準備会	指導室	障害者福祉課	児童青少年課					
	1	夢あるまちづくり	夢あるまちづくり協議会	環境保全課	環境政策課	防災課	暮らしの安全安心課	協働推進課	生涯学習総務課	子どものしあわせ課	
	2	親子ふれあいキャンプ2010	はちおうじユースネットサービス	生涯学習総務課	児童青少年課						
	3	市民参加型 援農活動による農業活性化-	特定非営利活動法人 すずしろ22	農林課							

平成 22 年 4 月発行

八王子市 市民活動推進部 協働推進課

〒192-8501

八王子市元本郷町三丁目 2 4 番 1 号

電話：042 - 620 - 7401（直通） FAX：042 - 626 - 0253

E-Mail：b050700@city.hachioji.tokyo.jp

市ホームページ（市民企画事業補助金）：

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>